



▲チュラポーン王女研究所のソムサク教授との面談



▲タイ国三井物産(株)の山本明夫社長との面談



▲戦後の日本とタイの友好交流における草分け的な存在である、ウタイ・アサワパパア夫妻との面談



◀◀四国の地場特産品を求め、多くの人で賑わう四国食品フェアの会場



▼愛宕柿の販売ブース



▲会場で披露した餅つきの実演



参加しました。会場は前回と同じく、グルメニッポン市が開催されたサイアム・パラゴン特別催事場で、国内企業や現地商社との連携の下、出展に向けて準備を進めました。四国食品フェアは1月25日から2月3日にかけて開催され、初日のオープニングセレモニーには、伊藤市長をはじめ、東京農業大学の山本名誉教授、西条商工会議所の田中正夫副会頭、ジェットロ愛媛貿易情報センターの異嘉弘所

長が出席し、鏡割りなどの記念行事が盛大に行われました。今回出展した地場特産品の中には、引き続き現地との取引が行われる商品も出てきており、市内から出展した日本一の生産量を誇る愛宕柿は、品質維持に関する課題が存在するものの、タイ国では珍しい縦長の形と甘みが好評を呼び、本格的な定着に向けて来シーズン以降の取り組みが期待されています。

伊藤市長がタイ国の主要機関を表敬訪問

四国食品フェアのオープニングセレモニー出席のためにタイ国を訪問した伊藤市長が、タイ国の主要機関を表敬訪問しました。

1月24日には、食品輸出路開拓事業のアドバイザーを務めていただいている東京農業大学の山本出名誉教授のご縁もあって、タイ国第三王女チュラポーン殿下が理事長を務められるチュラポーン王女研究所、タイ国における農業研究の最先端を担うカセサイト大学、タイ国政府農業局、

タイ国中央研究所を訪問し、お互いの食料産業における技術や取り組みなどについて話し合い、認識を深めました。25日には、ジェットロバンコクセンター、日本国大使館、タイ国三井物産(株)を訪問し、タイ国における日本食の情報交換などを行いました。また、戦後の日本とタイの友好交流における草分け的な存在であるウタイ・アサワパパア夫妻を内閣府から紹介いただき、情報交換の機会を持つことができました。